



糖尿病患者の相談に応える糖尿病看護認定看護師



# 医療と看護で、安心をつむぐ

日頃は当院の運営に対するご理解をいただきありがとうございます。

当院は、この地域の基幹病院として、急性期医療と高度専門医療を担うとともに、地域の皆さんが安心して医療を受けられるよう体制の確保に努めています。

近年は、患者数が多く緊急性が高いといわれているがん・脳卒中・心臓病などに対する医療の充実が期待されており、当院においても、さまざまな取組みを進めております。



院長渡邊有三

今回、定期的に発行しております病院新聞「さくら」 の臨時増刊号を発行し、市民の皆さまに、当院の取組み を広くお知らせすることといたしました。

これからも、医療スタッフが一丸となって質の高い医療を提供してまいりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。



腹腔鏡による低侵襲手術を行う医師



脳卒中や急性心筋梗塞に対して24時間対応する医師

市民病院では、医師、看護師、薬剤師などの医療スタッフが、がん・脳卒中・心臓病などの疾病に対し、質の高い急性期医療や高度専門医療を提供できるようさまざまな取組みを行っています。

## がん

高度ながん治療を提供できるよう体制の整備や機器の導入を進めており、県から「がん診療拠点病院」の指定を受けています。

#### 〈がんの3大療法〉

#### 手術療法

内視鏡、腹腔鏡など低侵襲な手術を進め、 患者の負担軽減を図っています。

#### 化学療法

入院だけでなく、外来でも受けられる抗が ん剤などの治療を外来化学療法センターで 行っています。

#### 放射線療法

最新鋭の放射線治療装置(トモセラピー HD)を導入し、平成26年4月から治療を開始しました。副作用や術後の合併症も少なく、通常の手術が困難な方や高齢の方に適しています。



放射線治療装置

がん診療の情報を提供したり、患者や家族からの相談を受けるがん相談支援センターや、痛みなどのつらさを緩和するために患者一人ひとりに合った対処を行う緩和ケアチームなど、がん治療に病院全体で取り組んでいます。

### 脳卒中

脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などに対して、神経内科・脳神経外科が連携し、 迅速かつ適切に対処できるように脳卒中センターを開設しました。特に、脳梗塞 急性期の t-PA 静注療法※は、県内トップクラスの診療実績となっています。

脳卒中(脳梗塞・脳出血・ くも膜下出血)の発生

かかりつけ医からの紹介

脳ドックでの異常

脳卒中センター

神経内科・脳神経外科の専門医が診断



#### 神経内科

薬物療法 (t-PA 静注療法など)

#### 脳神経外科

手術 (開頭・血管内治療・ 内視鏡手術など)

※t-PA静注療法:薬品により脳の血管に詰まった血栓(血のかたまり)を溶かす治療法 t-PAによる治療は、発病後4時間30分以内の脳梗塞患者に対して行っており、この6年間でこの治療を行った患者の 約半数は症状がほぼ消失して歩いて退院することができました。

### 心臓病

循環器科・心臓血管外科が連携し、急性心筋梗塞をはじめとする循環器疾患については、24時間365日いつでも対応できる体制をとっています。

#### 最新鋭の装置を導入

- ●心臓血管撮影装置 (急性心筋梗塞や狭心症の治療に 使用)
- ●三次元画像システム (カテーテルによる不整脈治療に 使用)



心臓血管撮影装置

虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症など) 病状に応じて薬物療法・カテーテルによる 血行再建術・冠動脈バイパス術を行ってい ます。

#### 不整脈

心臓血管撮影装置と三次元画像システムの 導入により、不整脈の発作原因となる場所 を正確に特定して焼く治療(カテーテルア ブレーション)をより安全に実施すること が可能になりました。

#### 糖尿病

さまざまな機能を集約し、患者の利便性の向上を図るとともに、糖尿病診療の質を向上するために、糖尿病センターを移転・拡充しました。このセンターでは糖 尿病以外に甲状腺疾患、代謝・内分泌疾患、脂質異常症なども取り扱います。

#### チーム医療の推進

医師・看護師だけではなく、薬剤師・管理栄養士・臨床心理士などのスタッフがチームを 組み、診療やアドバイスをします。

#### 糖尿病合併症に対する専門医連携

糖尿病は、神経障害、網膜症、腎不全、動脈硬化、歯周病などさまざまな合併症を引き起こします。合併症を診断するために適切な検査を行い、合併症と診断された場合には、当院の各専門医と連携して治療にあたります。

#### 糖尿病の3大療法

食事療法

運動療法

薬物療法

#### 認知症

初期のもの忘れ症状での相談や診察を進めるため、「もの忘れ外来」を開設しました。もの忘れについて、本人や家族が気づき、早めに診察や診断を受け、認知症についてきちんと認識することが大切です。

#### もの忘れ外来での診療

もの忘れの原因を診察

- 身体診察
- 頭部 C T·M R I 検査
- 記憶検査
- 各種血液検査

神経学的診察アイソトープ検査

病気によるもの

加齢によるもの

認知症看護認定看護師



がん性疼痛看護認定看護師

#### 看護師の取組み

がん看護、がん性疼痛看護、脳卒中リハビリテーション看護、糖尿病看護、認知症看護など、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有すると認められた専門看護師・認定看護師がそれぞれの専門分野での治療を支えています。

また、認定看護師による院内での看護相談外来や、地域に出向いての看護・介護職へのサポートなど、施設・在宅で療養する方々への支援を行っています。



がん化学療法看護認定看護師



地域に出向いている認定看護師

## 市民病院からのお願い

### ▶大切な命を救うため、救急医療の適正受診にご協力ください

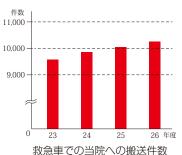
この地域の救急医療を担うため、救急当番医と各専門領域の担当の待機医師が24時間 365日体制で医療にあたっています。

しかしながら、軽い症状なのに「待ち時間が少ない」「昼間に用事がある」などの自己都合により救急外来を受診する、いわゆる「コンビニ受診」などが多くなっています。また、救急車での当院への搬送件数は

毎年増加しています。このような状態が続けば、 救急医療を本当に必要とする重症患者への対応が 困難となり、救える命が救えなくなることが考え られます。

受診が必要な場合には、まずは、かかりつけ医 や休日・平日夜間急病診療所の受診を検討してい ただき、救急医療の適正受診にご協力ください。



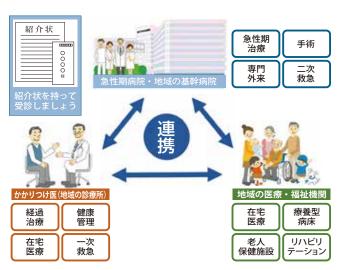


#### ▶地域完結型医療の推進にご協力ください

市民病院とかかりつけ医、介護サービス事業者などが、それぞれの機能を発揮し、お互いに協力して、 地域完結型の医療を構築しています。

いざというときには、かかりつけ医の判断により、 連携している機関から、切れ目なく最適な医療や介 護サービスを受けることができます。

日常的な診療や健康管理などのために、身近な医療機関を「かかりつけ医」としましょう。



#### 市民公開講座「あなたの肝臓、大丈夫ですか?」

日時: 9月26日(土) ①午後1時~2時15分 ②午後2時15分~3時30分

会場:東部市民センター

内容: ①講演 I 「肝臓病に使うわかりやすい薬のはなし」

薬剤科薬剤師・中崎みづき

講演Ⅱ「肝臓病の最新情報」

消化器科部長・祖父江聡

②健康チェック(血糖・血圧・血管年齢・下肢筋力測定)

\* 今後の予定については、広報春日井、病院ホームページ等でお知らせします。



## 病院新聞 発行日 平成27年9月1日 臨時增刊号

#### 発行 春日井市民病院

- ■〒486-8510 春日井市鷹来町1丁目1番地1
- ■電話 0568-57-0057 (代表)
- ■ホームページ http://www.hospital.kasugai.aichi.jp/
- Facebook https://www.facebook.com/hospital.kasugai.aichi.jp



ホームページ QR コード